

第 6 表 全国気象官署別気象概況(昭和56年)

本表の「相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測を、「気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい、「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。

Table with columns for 気象官署, 気温 (年平均值, 年間最高値, 年間最低値, 年平均), 相対湿度 (年平均值, 年間最小値, 年平均), 日照時間 (年平均值, 年間), 降水量 (年平均值, 年総量, 1日最大値), 快晴 (日数), 最大風速 (m/S), 最深積雪 (cm). Rows list various weather stations across Japan.

第 3 章
人 口

### 第 3 章 人 口

#### 概 況

昭和58年10月1日現在、大阪府の人口は859万4788人である。57年10月1日からの1年間で4万9287人増加し、0.58%の増加率を示した。

人口増加数は、45年から急速に減少し、55年には、2万6708人まで落ち込んだが、その後は上昇傾向に転じ、今回は、前年の増加数を1万1677人(0.14ポイント)上回り、42年以來の1万人を越える増加を示した。

人口増加を自然増加(出生と死亡の差)と社会増加(転入と転出の差)に分けてみると57年から58年の自然増加数は6万3105人で増加率は0.74%の増となった。一方、社会増加は1万3818人減少し、0.16%の減となった。

自然増加は、47年の約14万人をピークに徐々に低下を続け、52年には10万人を割り、その後も低下を続けたが、今回、11年ぶりに前年を上回る増加となった。

社会増加は、48年に社会減少に転じて以来、その後、減少幅を拡大してきたが、54年の5万2000人をピークに年々縮小し、58年には1万3818人まで回復した。

58年10月1日現在の世帯数は286万8698世帯で、1年間に4万371世帯、1.43%増加し、人口の伸びを上回っている。

1世帯当たり人員は、3.00人で前年より0.02人減少し、世帯規模の縮小傾向が続いている。

#### 転入と転出

住民基本台帳による大阪府の転入、転出をみると、昭和57年(1月～12月)の転入者数は前年と比べ1432人下回って、22万3085人となった。一方、転出者数は前年と比べ7480人下回って、25万449人となり、その結果転入転出の差は2万7364人の転出超過で8年ぶりに3万人台を割った。

大阪府の転入は、全国的にみると東京都の49万1千人、神奈川県28万について第3位、転出では東京都の53万1千人について第2位である。

#### 年齢構造

昭和55年国勢調査結果から年齢3区分別にみると、50年に比べて、生産年齢人口(15～64歳)は、13万789人・2.3%増の578万3300人、年少人口(0～14歳)は、5万3409人・2.5%減の206万7583人、老年人口(65歳以上)は11万2687人・22.5%増の61万3361人で全体に占める割合はそれぞれ68.3、24.4、7.2%となっている。生産年齢人口の比率は40年まで着実に上昇したのち、40年～45年は1.6ポイント、45～50年は2.6ポイント低下したが、50～55年は変化はなかった。一方、年少人口の比率は、40年を境として低下から上昇に転じていたが、50～55年は1.2ポイント低下した。また、老年人口の比率は一貫して上昇を続けており、50～55年は、さらに1.2ポイントの上昇を示した。

次に5歳階級別人口をみると、20～24歳と25～29歳が前回に比べ減少している。25～29歳の減少は主として第1次ベビーブーム後の出生率の落ち込みによるものである。

#### 労働力人口

昭和55年国勢調査結果から労働力状態をみると、15歳以上人口は639万6661人で50年より24万3476人、4.0%の増加でこのうち労働力人口(就業者+失業者)は394万1464人(対50年3.0%増)、非労働力人口は243万7932人(同4.8%増)となった。この結果、労働力率(15歳以上人口に対する割合)は50年の62.2%から61.6%と低下し、一方非労働力率(同)は37.8%から38.1%と0.3ポイントとわずかな上昇を示した。また、完全失業者は50年の11万8204人から1万2213人、10.3%の増加で13万417人となった。このため完全失業率(労働力人口に対する割合)は3.1%から3.3%へと上昇した。

次に、年齢階級別就業者の特徴をみると、15～19歳、20～24歳、25～29歳の就業者はいずれも減少し、それぞれ、9.4%、19.3%、24.4%の減少となっている。中でも25～29歳で大きな減少を示した。また、産業別就業者の割合では第3次産業就業者はすべての年齢階級で50%を上回っている。

#### 昼間人口と流動人口

昭和55年の大阪府の昼間人口は881万1300人で、50年と比べると、21万8710人(2.5%)増加し、昼間人口指数も0.3ポイント上昇し、104.9となった。

大阪府の昼間における通勤者、通学者は418万6014人で、このうち府外からの流入人口は61万6708人で全体の14.7%を占めている。

大阪府への流入者を府県別にみると、兵庫県の31万1195人(50.5%)が最も多く、次いで奈良県16万5275人(26.8%)、京都府8万5063人(13.8%)と続き、この3府県で流入総数の91.1%を占めている。

一方、大阪府に常住し、大阪府外へ通勤、通学している流出人口は20万336人で、50年と比べると、2万4395人(13.9%)増加している。

大阪府からの流出者を府県別にみると、兵庫県の9万4866人(47.4%)が最も多く、次いで京都府6万5205人(32.5%)、奈良県2万811人(10.4%)と続き、この3府県で流出総数の90.3%を占めている。

#### 人口の動態

大阪府の出生率は、第2次世界大戦直後の昭和22年から24年までは、人口千人に対し30以上の高率を示していたが、その後、低下を続け、32年には15.2とそれまでの最低を記録した。33年から上昇に向い42年には23.2となり、以後46年まで横ばいの状態を続けていたが、47年以降は、再び低下傾向を示し、昭和57年は12.7(全国12.8)となっている。

昭和57年の出生率を市町村別にみると、茨木市が15.5で最も高く、次いで、吹田市(15.2)、箕面市(15.1)、枚方市(15.0)と続いている。逆に最も低いのは、河南町の9.2となっている。

一方、死亡率は、昭和22年に人口千人に対し14.5と高率を示していたが、戦後のめざましい医学の進歩、生活環境の改善等により46年には、5.1まで低下した。その後は、横ばいの状態を続けており、昭和57年は5.3(全国6.0)となっている。

また、市町村別では、岬町の9.1を最高に、能勢町(8.0)、河南町(7.4)、千早赤阪村(7.3)と続いており、逆に、交野市、摂津市の3.6が最も低く、次いで、枚方市、寝屋川市、島本町の3.7となっている。

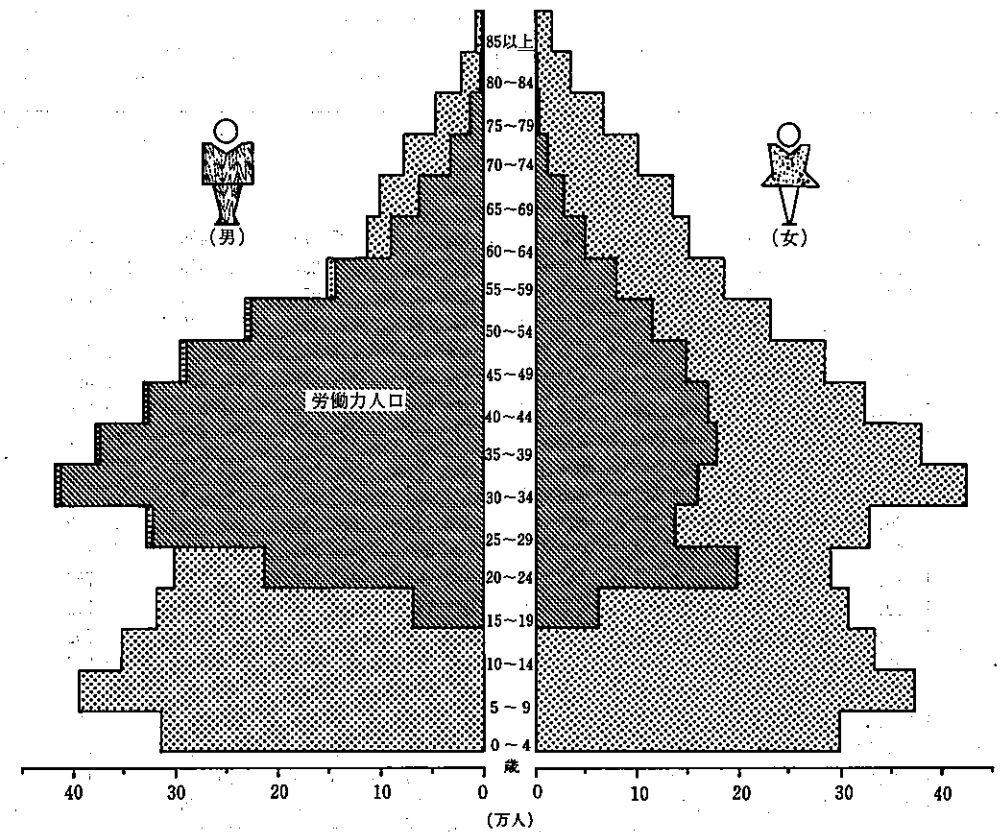
なお、昭和57年の大阪府における死産数は6399胎(出産千対の死亡率56.9)、婚姻件数は5万8437件(人口千対の婚姻率7.0)、離婚件数は1万4237件(人口千対の離婚率1.70)となっている。

次に、昭和57年の日本人の平均寿命は、厚生省の簡易生命表によると、男子74.22年、女子79.66年で前年に比べ、それぞれ、0.43年・0.53年の伸びを示している。

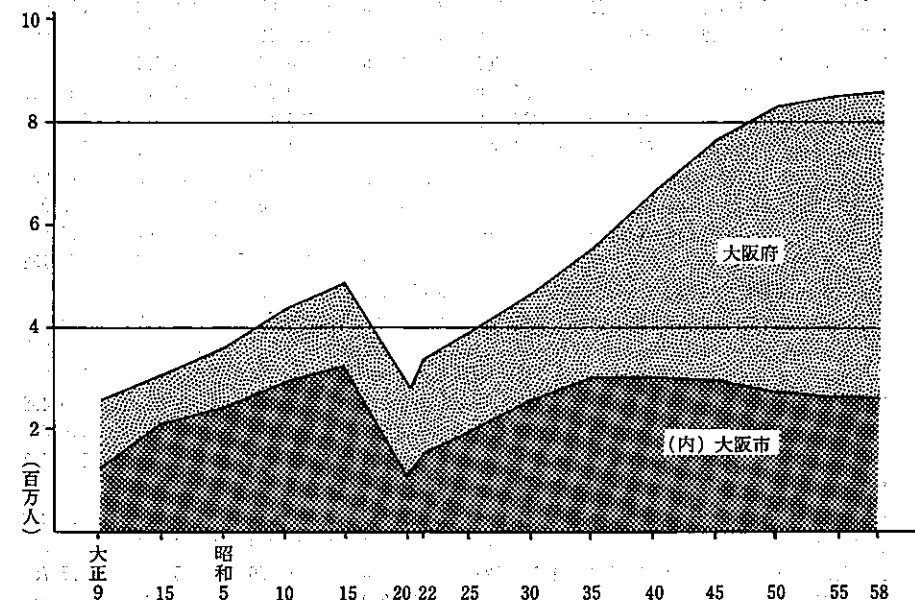
これを国際的にみると(国により生命表の作成基礎期間等が異なるため、厳密な比較はできない)、男子72年、女子78年を超えている国は日本のほか、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、アイスランドとなっており、日本の平均寿命は世界でもトップグループにあると言える。

なお、大阪府の平均寿命は、昭和55年の地域別生命表によると、男子72.96年、女子78.36年であり、全国で男子33位、女子45位となっている。

### 人口ピラミッド(昭和55年)



### 人口の推移



本籍人口及び現住人口

本表は国勢調査、人口調査及び大阪府がまとめた人口調査及び推計によるものであり、現住人口とは現住、常住いずれかを等により算出、以降昭和9年まで旧陸軍参謀本部の測図(2万分の1)により、昭和10年より24年までは、総理府統計局の...

Table with columns: 年次, (1)面積, (2)本籍人口, (3)現住人口, (4)戸数又は世帯数, 人口密度. Rows include years from 明治 23 年 to 昭和 11 年.

並びに世帯数の推移

指し、本籍人口には出生地人口を掲載した場合がある。(1)面積については明治30年までは本府管内全図及び大阪市街実測図...

Table with columns: 年次, (1)面積, (2)本籍人口, (3)現住人口, (4)戸数又は世帯数, 人口密度. Rows include years from 昭和 12 年 to 昭和 58 年.

市区町村別各年10

各年10月1日現在世帯数を昭和57年10月1日現在の市区町村の区域に組替えたものであり、一部境界変更については調整をい、それ以前の世帯数は大阪府で再集計したものである。\*印は国勢調査結果である。

Table with 10 columns: 市区町村, 昭和58年, 昭和57年, 昭和56年, \*昭和55年, 昭和54年, 昭和53年, 昭和52年, 昭和51年, \*昭和50年. Rows include 大阪府, 大阪市地域, 三島地域, 豊能地域, 北河内地域, 中河内地域, 南河内地域, 泉北地域, 泉南地域, 大阪市, 北区, 都島区, 福岛区, 福花区, 東区, 西区, 港区, 大正区, 天王寺区, 南区, 浪速区, 大淀区, 西淀川区, 東淀川区, 東成区, 生野区, 旭区, 城東区, 阿倍野区, 住吉区, 東住吉区, 西成区, 淀川区, 鶴見区, 住之江区, 平野区.

月 1 日 現在 世 帯 数

行っていない。又、昭和51-54年の推計世帯数は、昭和50年国勢調査結果により補正している。大阪市の分区(49.7.1)に伴

Table with 10 columns: 市区町村, 昭和58年, 昭和57年, 昭和56年, \*昭和55年, 昭和54年, 昭和53年, 昭和52年, 昭和51年, \*昭和50年. Rows include 堺市, 岸和田市, 豊中市, 池田市, 吹田市, 泉大津市, 高槻市, 貝塚市, 守口市, 枚方市, 茨木市, 八尾市, 泉佐野市, 富田林市, 寝屋川市, 河内長野市, 松原市, 大東市, 和泉市, 箕面市, 柏原市, 羽曳野市, 門真市, 摂津市, 高石市, 藤井寺市, 東大阪市, 泉南市, 四条畷市, 交野市, 島本町, 豊能町, 能勢町, 忠岡町, 熊取町, 田尻町, 岬町, 阪南町, 太子町, 河内町, 千早赤阪村, 狭山町, 美原町.

市 区 町 村 別 各 年

各年10月1日現在人口を昭和57年10月1日現在の市区町村の区域に組替えたものであり、一部境界変更については調整を行  
それ以前の人口は大阪府で再集計したものである。\*印は国勢調査結果による。

Table with 10 columns: 市区町村, 昭和58年, 昭和57年, 昭和56年, 昭和55年, 昭和54年, 昭和53年, 昭和52年, 昭和51年, 昭和50年. Rows include 大阪府, 大阪市地域, 三島地域, 豊能地域, 北河内地域, 中河内地域, 南河内地域, 泉北地域, 泉南地域, 大阪市, and various districts like 北区, 都島区, etc.

資料 総理府統計局「国勢調査報告」、大阪府企画部統計課「大阪府の人口」

10 月 1 日 現 在 人 口

っていない。又、昭和51～54年の推計人口は、昭和55年国勢調査結果により補正してある。大阪市の分区(49.7.1)に伴い、

Table with 10 columns: 市区町村, 昭和58年, 昭和57年, 昭和56年, 昭和55年, 昭和54年, 昭和53年, 昭和52年, 昭和51年, 昭和50年. Rows include 堺市, 岸和田市, 豊中市, 池田市, 吹田市, 泉大津市, 高槻市, 貝塚市, 守口市, 枚方市, 茨木市, 八尾市, 泉佐野市, 富田林市, 寝屋川市, 河内長野市, 松原市, 大東市, 和泉市, 箕面市, 柏原市, 羽曳野市, 門真市, 摂津市, 高石市, 藤井寺市, 東大阪市, 泉南市, 四条畷市, 交野市, 島本町, 豊能町, 能勢町, 忠岡町, 熊取町, 田尻町, 岬町, 阪南町, 太子町, 河内町, 千早赤阪村, 狭山町, 美原町.

第 4 表

市区町村別世帯数

昭和55年国勢調査結果に基づく各年10月1日及び各月1日現在の推計人口であり、人口密度は各年10月1日現在の建設省

Table with columns: 市区町村, 世帯数, 人口 (総数, 男, 女), 増加人口 (対前年) (総数, 自然増加, 社会増加), 人口増加率 (対前年) %, 人口密度 (1km当り) 人. Rows include 昭和53-57年, 大阪府地域 (三島, 豊能, 北河内, 中河内, 南河内, 泉北, 泉南), 大阪市 (北, 都島, 福島, 此花, 東, 西, 港, 大正, 天王寺, 南, 浪速, 大淀, 西淀川, 東淀川, 東成, 生野, 旭, 城東, 阿倍野, 住吉, 東住吉, 西成, 淀川, 鶴見, 住之江, 平野).

資料 大阪府企画部統計課「大阪府の人口」

人口密度・月別人口等

国土地理院調による面積によって算出した。

Table with columns: 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月. Rows include 昭和53-57年, 大阪府地域 (三島, 豊能, 北河内, 中河内, 南河内, 泉北, 泉南), 大阪市 (北, 都島, 福島, 此花, 東, 西, 港, 大正, 天王寺, 南, 浪速, 大淀, 西淀川, 東淀川, 東成, 生野, 旭, 城東, 阿倍野, 住吉, 東住吉, 西成, 淀川, 鶴見, 住之江, 平野).



第 5 表

市町村別住民基本台帳に基づく世帯数・男女別人口・1世帯あたり人員

各年度末現在における住民基本台帳に基づく人口及び世帯数である。

Table with columns: 市町村, 世帯数, 人口 (総数, 男, 女), 世帯人員. Rows include 昭和53年度末, 昭和57年度末, and various municipalities like 大阪市, 豊中市, etc.

資料 自治省行政局「住民基本台帳に基づく全国人口・世帯数表・人口動態表」

第 6 表

市町村別、国籍別外国人登録人口

各年12月末現在である。

Table with columns: 市町村, 総数, 国籍 (朝鮮・韓国, 中国, 米 国, インド, カナダ, 英 国, フィリピン, スペイン, インドネシア, その他). Rows include 昭和53年, 昭和57年, and various municipalities like 大阪市, 豊中市, etc.

資料 大阪府総務部地方課「外国人登録人員季報」



市 町 村 別 年 齡

昭和55年国勢調査結果によるものであり総数には年齢不詳を含むため内訳とは必ずしも一致しない。

Table with columns for City/Town/Village, Total, and age groups (0-4, 5-9, 10-14, 15-19, 20-24, 25-29, 30-34, 35-39). Rows include major cities like 昭和, 大阪, 京都, and various towns.

(5歳階級) 別 人 口

Table with columns for age groups (40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80-84, 85-89, 90歳以上). Rows correspond to the same municipalities as the first table.

第 8 表

市町村別、男女年齢（3区分）別人口

昭和55年国勢調査結果によるものであり、年齢不詳は含んでいない。

Table with columns for age groups (0-14, 15-64, 65+) and gender (Total, Male, Female) for various municipalities. Includes a total row at the bottom.

資料 総理府統計局「国勢調査報告」

第 9 表

産業（大分類）、職業（大分類）、男女別15歳以上就業者数

昭和55年国勢調査1%抽出集計結果であるため内訳計と総数は必ずしも一致しない。

Table showing employment numbers by industry (A-K) and occupation (A-K) for males and females aged 15 and over. Includes a total row at the bottom.

資料 総理府統計局「国勢調査報告」

市町村別、労働力状態・産業

昭和55年国勢調査結果によるものである。労働力状態「不詳」は50年については、非労働人口に、

Table with columns for City/Town/Village, 15歳以上人口総数, 労働力人口 (総数, 就業者, 完全失業者), 非労働人口, and 産業 (農, 林業狩猟業, 漁業水産養殖業). Rows include major cities like 昭和50年, 昭和55年, 大阪市, 大津市, etc.

資料 総理府統計局「国勢調査報告」

(大分類)別15歳以上就業者数

55年は15歳以上人口総数に含まれている。(又就業者には分類不能の産業を含む)

Table with columns for 業大分類別 (鉱業, 建設業, 製造業, 卸売業小売業, 金融・保険業, 不動産業, 運輸・通信業, 電気・ガス・水道業, サービス業, 公務) and 就業者数. Rows list various industries and their respective employment numbers.

第11表 年齢階級、配偶関係別15歳以上就業者数 (昭和25~55年)

Table with columns for region/age group, sex, marital status, and employment status. Rows include age groups from 昭和25年 to 85歳以上.

資料 「国勢調査報告」

第12表

世帯の家族類型別普通世帯数、

45年、50年は兄弟姉妹のみから成る世帯は集計されていない。

Table showing household types and family types. Columns include household type, total count, and counts for various family types like nuclear families and extended families.

資料 「国勢調査報告」

第13表 年齢階級、教育程度別15歳以上就業者数

Table showing employment by age group and education level. Columns include age group, sex, education level, and employment status.

資料 「国勢調査報告」

普通世帯人員及び親族人員

Table showing personnel in ordinary households and relatives. Columns include household type, personnel count, and counts for various household types.





他都道府県との転出入人口

各年1月-12月中の日本人のみのものである。△印は転出超過。

Table with columns for Prefecture (都道府県), Migration to Osaka (大阪府への転入), Migration from Osaka (大阪府からの転出), and Excess Migration (転出入超過). Rows list various prefectures and years from 1925 to 1957.

資料 総理府統計局「住民基本台帳人口移動報告」

年次別人口動態

人口動態率は各年10月1日人口に対する各年中の人口動態の数の割合である。日本人人口によるものであり、所在地主義によるものである。但し、人口の増加率、性比については大阪府統計課推計人口(外国人を含む)によるものである。

Table showing annual population dynamics from 1925 to 1957. Columns include Birth Rate (出生率), Death Rate (死亡率), Marriage (婚姻), and Divorce (離婚), with sub-columns for total numbers and rates per 1,000 population.

資料 厚生省「人口動態統計」、大阪府衛生部管理指導課「衛生年報」

第 17 表

市町村別、月別出生数

本表は厚生省「人口動態統計調査」によるもので、住所地主義である。

Table with 13 columns: 市町村, 総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月. Rows include various municipalities like 昭和, 大坂, 三豊, etc.

第 18 表

市町村別、月別死亡数

第17表頭注参照。

Table with 13 columns: 市町村, 総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月. Rows include various municipalities like 昭和, 大坂, 三豊, etc.



第 19 表

市町村別、月別自然増加数

第17表頭注参照。

Table with columns for city/town/village, total population, and monthly natural increase (Jan-Dec). Rows include major cities like 昭和, 大阪, 京都, and various smaller municipalities.

第 20 表 市町村別、月別乳児（1歳未満）死亡数

第17表頭注参照。

Table with columns for city/town/village, total infant deaths, and monthly infant deaths (Jan-Dec). Rows include major cities like 昭和, 大阪, 京都, and various smaller municipalities.

第 21 表

市町村別、月別死産胎数

第17表頭注参照。

Table with 14 columns (Total, 1-12 months) and multiple rows for various municipalities and districts in Osaka, showing monthly and total fetal deaths.

資料 大阪府衛生部管理指導課調

第 22 表

市町村別、月別婚姻件数

第17表頭注参照。

Table with 14 columns (Total, 1-12 months) and multiple rows for various municipalities and districts in Osaka, showing monthly and total marriages.

資料 大阪府衛生部管理指導課調

市町村別、月別離婚件数

第17表項注参照。

Table with columns for city/village, total number of divorces, and monthly counts from January to December. Includes sub-sections for Osaka, Kyoto, and other regions.

生 命 表 (全国)

\*印は完全生命表

Table showing life expectancy and mortality rates for males and females across different age groups. Columns include age, sex, death rate, survival rate, and average life expectancy.

第 25 表 都道府県別人口、出生・死亡、自府県外との移動

総人口は単位未満を四捨五入してあるので、男女計と総数及び都道府県計と全国の数は必ずしも一致しない。総人口は各年10月1日現在の総府統計局推計人口及び、昭和55年国勢調査結果・出生・死亡は厚生省人口動態統計による1月～12月の計であり、自然増加と死亡の全国分には県名不詳の死亡数を含むため都道府県計と総数は一致しない。自府県との移動は総府統計局住民基本台帳人口移動報告による1月～12月の計であり、△印は転出超過である。

都道府県	総 人 口			出生・死亡 (日本人)			自府県外との移動 (日本人)		
	総 数	男	女	自然増加	出 生	死 亡	転出入超過	転 入	転 出
	千人			人			人		
昭和 53 年	115 174	56 704	58 470	1 012 822	1 708 643	695 821	—	3 487 439	3 487 439
54	116 133	57 180	58 953	952 916	1 642 580	689 664	—	3 469 432	3 469 432
55	117 060	57 594	59 467	854 088	1 576 889	722 801	—	3 362 056	3 362 056
56	117 884	58 002	59 882	809 193	1 529 455	720 262	—	3 318 219	3 318 219
昭和 57 年	118 693	58 402	60 291	803 471	1 515 398	711 927	—	3 288 558	3 288 558
北海道	5 633	2 761	2 872	40 295	72 830	32 535	△11 681	71 123	82 804
青森県	1 529	737	792	10 509	20 372	9 863	△ 8 446	35 688	44 134
岩手県	1 428	690	738	8 994	18 581	9 587	△ 6 444	31 026	37 470
宮城県	2 125	1 047	1 078	18 045	30 365	12 320	3 787	60 988	57 201
秋田県	1 257	603	654	6 224	15 214	8 990	△ 7 768	21 557	29 325
山形県	1 255	607	649	6 194	15 764	9 570	△ 5 348	21 113	26 461
福島県	2 051	998	1 052	14 083	28 527	14 444	△ 5 760	41 899	47 659
茨城県	2 632	1 310	1 322	18 818	35 741	16 923	19 552	76 157	56 605
栃木県	1 819	900	919	12 862	24 864	12 002	383	38 587	38 204
群馬県	1 877	924	953	11 851	24 157	12 306	1 839	35 848	34 009
埼玉県	5 611	2 836	2 775	48 353	72 690	24 337	44 460	209 726	165 266
千葉県	4 919	2 474	2 444	42 426	65 489	23 063	44 527	209 599	165 072
東京都	11 669	5 886	5 783	75 419	133 776	58 357	△39 643	491 394	531 037
神奈川県	7 116	3 639	3 477	60 297	90 823	30 526	40 167	279 799	239 632
新潟県	2 464	1 200	1 264	13 664	30 857	17 193	△ 8 235	38 166	46 401
富山県	1 109	535	574	5 213	12 761	7 548	△ 1 819	18 747	20 566
石川県	1 132	549	583	7 194	14 418	7 224	57	24 393	24 336
福井県	801	388	413	4 517	10 199	5 682	△ 601	15 159	15 760
山梨県	811	395	416	3 900	9 859	5 959	△ 37	18 906	18 943
長野県	2 100	1 018	1 083	10 112	25 059	14 947	△ 2 150	37 851	40 001
岐阜県	1 989	967	1 021	11 824	24 319	12 495	2 244	43 128	40 884
静岡県	3 494	1 719	1 775	25 456	45 935	20 479	△ 684	75 789	76 473
愛知県	6 311	3 159	3 153	50 350	82 001	31 651	△ 7 941	132 696	140 637
三重県	1 714	831	882	8 518	20 464	11 946	3 753	42 437	38 684
滋賀県	1 111	545	566	8 286	15 269	6 983	7 102	33 632	26 530
京都府	2 556	1 253	1 303	14 434	30 492	16 058	707	76 474	75 767
大阪府	8 546	4 238	4 309	61 487	106 101	44 614	△27 364	223 085	250 449
兵庫県	5 200	2 536	2 663	34 133	65 924	31 791	△ 6 158	128 893	135 051
奈良県	1 254	609	645	8 346	15 935	7 589	11 388	48 994	37 606
和歌山県	1 091	525	567	4 509	12 999	8 490	△ 2 738	20 854	23 592
鳥取県	610	293	317	3 199	7 941	4 742	△ 926	15 075	16 001
島根県	788	379	409	2 693	9 365	6 672	△ 1 455	18 795	20 250
岡山県	1 887	913	975	9 937	23 593	13 656	△ 2 185	44 058	46 243
広島県	2 777	1 355	1 422	18 020	35 798	17 778	△ 3 513	75 354	78 867
山口県	1 597	764	833	7 105	18 781	11 676	△ 1 873	44 490	46 363
徳島県	828	397	431	3 566	10 262	6 696	△ 2 193	17 566	19 759
香川県	1 009	486	523	4 934	12 270	7 336	△ 301	28 416	28 717
愛媛県	1 515	722	793	7 810	18 821	11 011	△ 4 196	31 905	36 101
高知県	834	397	437	2 287	9 804	7 517	△ 1 015	17 435	18 450
福岡県	4 634	2 239	2 396	34 220	62 757	28 537	3 493	131 291	127 798
佐賀県	872	414	458	5 560	12 162	6 602	△ 2 649	23 993	26 642
長門県	1 595	761	834	9 812	21 707	11 895	△ 8 846	43 014	51 860
熊本県	1 810	860	950	10 591	23 810	13 219	△ 1 563	47 152	48 715
大分県	1 238	587	650	5 931	15 242	9 311	△ 1 954	33 046	35 000
宮崎県	1 166	556	609	8 410	16 695	8 285	△ 2 242	32 640	34 882
鹿児島県	1 800	846	953	9 891	24 662	14 771	△ 3 152	52 472	55 624
沖縄県	1 132	557	575	14 696	19 943	5 247	△ 2 579	28 148	30 727

第 4 章  
事 業 所